

JCD

Kansai
2005.3.Vol.57

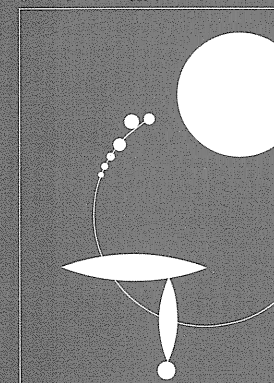
JCD

Kansai

2005.3

Vol.57

[表紙・デザイン]
SPRING
ミノ・クレエ 友田みのり



2005年(平成17年)3月号
vol.57 平成17年3月1日発行
発行/社団法人 日本商環境設計家協会
関西支部
〒559-0034
大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟10階A-1
(財)大阪デザインセンター内
Tel./Fax. 06-6613-5557

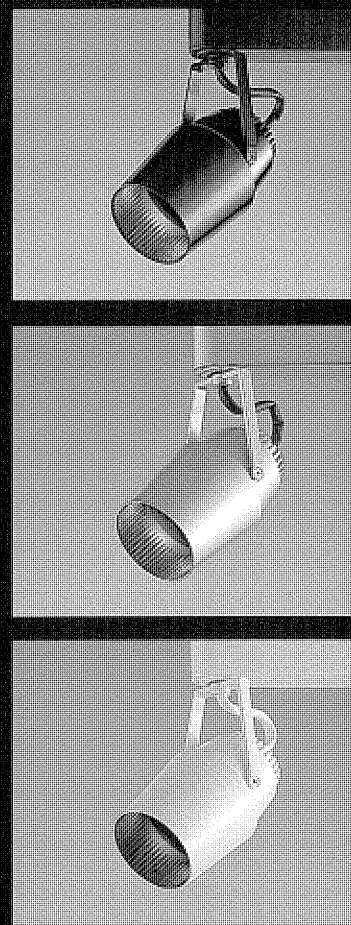
広報委員会
指導相談役/郷力憲治
委員長/前田穂積
副委員長/岡島昇 久保茂
寺井義和 友田みのり
委員/一色勝美 権藤旭
桜井敬三 佐藤史仁
原川公一 平岡孝啓
藤谷明正 三宅雅夫
山田常寿

印刷/あいであプリンティング株式会社

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部
JCD KANSAI 2005年3月 第57号

明るい。

でも眩しくない。

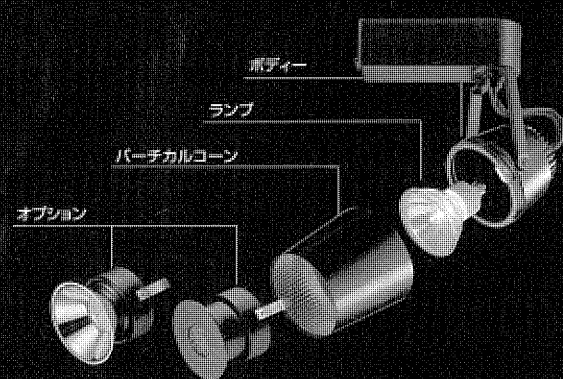


■写真上から
DSL-2259XB (ブラック)
DSL-2259XS (メタリックシルバー)
DSL-2259XW (オフホワイト)
(トランス付・ランプ別売)
50W (E210) × 1灯
12Vダイクロハロゲン球 (径50mm)

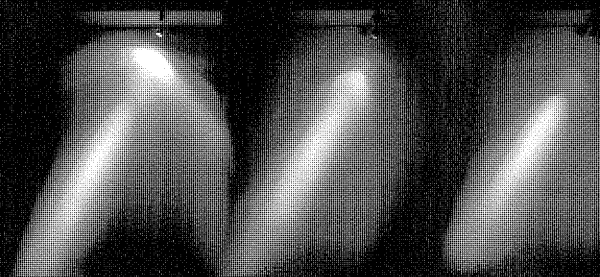
光源からの不快な眩しさ(グレア)をカット

GLARELESS SPOT LIGHT

グレアレススポット (意匠登録出願中・特許出願中)



グレアレススポットなら、アタッチメントを選択することで
(地明かり)、〈タッチ〉、〈ピックアップ〉などの
TPOにあわせたドラマチックなライティングが可能です。



従来タイプ グレアレススポット ピンホールオプション装着

詳しくは、「D's PRO」P.392~P.393をご覧下さい。

商業施設用照明総合カタログ

D's PRO
D's PROFESSIONAL LIGHTING

好評発刊中

商業施設用照明器具と空間演出例を満載。
第一線で活躍中の建築家やデザイナーなど世界のトップクリエイター
によるオリジナル照明や次世代光源として注目を集めるLED照明など
の最新器具から、人気のスポットライトやベース照明まで、商業施設用
の照明器具を豊富に掲載しております。

新製品 約800点 総掲載品数 約3,700点 総頁数 880ページ

DAIKO
TEL (06) 6972-8290 FAX (06) 6972-8281
http://www.lighting-daiko.co.jp

04 ● REPORT

商環境2004

ハービスエント ヒルトンプラザウエスト ————— 原川 公一
それぞれが見た ハービスエント ヒルトンプラザウエスト ——— 寺井 義和・友田 みのり

06 ● 特別連載企画

「これで商店街は蘇るか?」今里新橋通り商店街 PART-3

JCD広報委員会誌上コラボレーション

08 ● 研究委員会報告

研究委員会小セミナー

「空堀商店街界限長屋再生プロジェクト」 ————— 出口 巳幸

商環境フォーラム2004

「JCD/DAIKOデザインフォーラム2005」 ————— 久保田 博文
— 商環境デザイン — 世代による関わり方の相違 —
「日本の空間デザイン展レポート」 ————— 久保田 博文

12 ● ヴィジョン委員会報告

これからのヴィジョン委員会

————— 末浪 伸浩

13 ● 連載

endress marathon communication

関東支部 副支部長・理事 ————— 星 明臣
関東支部 副支部長 ————— 太細 通

14 ● 連載

WORKING NOW

新入会員紹介 ————— 宇川 邦彦・加藤 義行
衣笠 和宏・酒井 礼子
塚田 佳弘・長町 志穂
中村 裕輔・広内 良明

新規賛助会員紹介

(株)アドヴァン
ニチエ(株)
(株)ニッシンイクス

18 ● 交流委員会報告

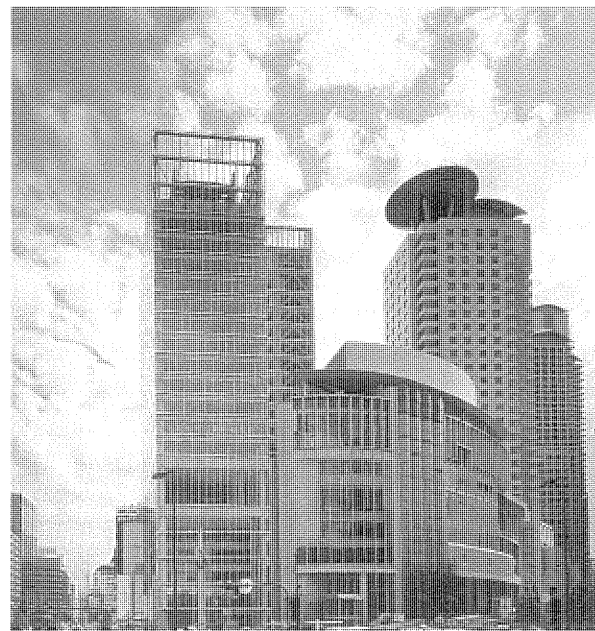
DDA・JCD・SDA 合同チャリティー絵馬展 ——— 三宅 雅夫

20 ● 報告

JCD関西支部活動報告

クリスマスパーティ ————— 市川 邦治
るるぶ会 ————— 前田 穂積

ハービスエント ヒルトンプラザウエスト全体概要



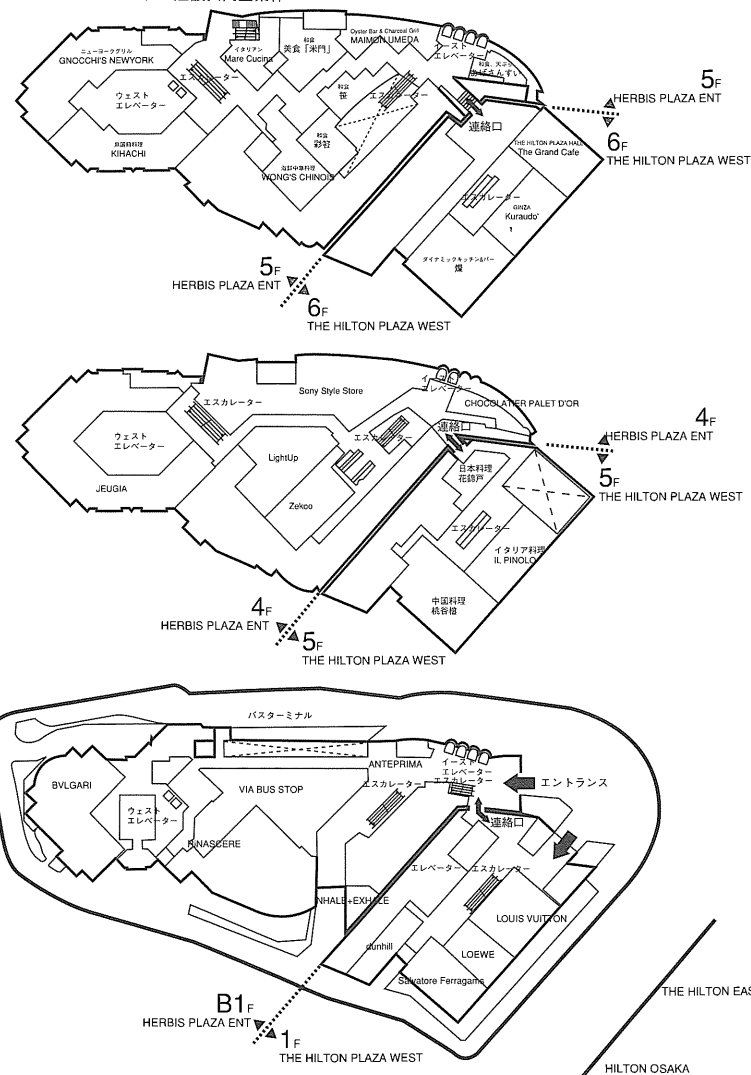
それぞれが見た
ハービスエント・ヒルトンプラザウエスト

原川公一

阪神電気鉄道による西梅田開発の2期工事、通称「ハービスENT」と第二吉本ビルの通称「ヒルトンプラザウエスト」は建築主は違っても同一敷地に建つ二つの建物として申請され、計画段階から両社は週に2~3度の打ち合わせを行い、管理面や営業時間等も含めて、「利用者の利便性」を共通の目的として計画されたそうです。設計・施工の中心的役割を竹中工務店が受け持つ事で、全く違う建築主の商業ビルでありながら、駐車場を共用で使用出来るようにし、上層階に連絡口を設けている事で、利用者は知らず知らずのうちに、両方のビルを回遊しているようです…。主に導線として結ばれているのは、3フロアあります。

①ハービスPLAZA ENTのB1階と、ヒルトンプラザウエストの1階。ENTのB1階は、空港バス・高速バスのりばのあるフロアで、実質は1階とも言えます。そして、②ENTの4階(ソニースタイルのあるフロア)と、ヒルトンウエストの5階レストランフロア。③ENTの5階レストランフロアと、ヒルトンプラザウエストの6階レストランフロアです。連絡口3フロアの内1階以外は、レストランフロアで結ばれており、利用する側としては、飲食店が混みあう時間帯には特に便利ではないでしょうか。1階も北東部分にアプローチ広場を設け、その広場を囲うようにそれぞれのファサードが配置されています。北東方向にはJR大阪駅、大丸、阪急等、集客を競う商業スペースがあり、両ビルのファサードが一体のボリュームとして「ここに魅力的な商業スペース

<p>HERBIS PLAZA ENT 建築名称 梅田阪神第2ビルディング 建築主 阪神電気鉄道株式会社 規模 地上28階 地下4階 塔屋2階 延床面積 107,000m² 商業施設 51,000m² 駐車場 300台 設計・監理 株式会社 竹中工務店 竹中工務店・大林組・鹿島建設・望月建設・五洋建設・ハンシン建設共同企業体</p>	<p>THE HILTON PLAZA WEST 建築名称 第二吉本ビルディング 建築主 第二吉本ビルディング株式会社 規模 地上20階 地下4階 塔屋2階 延床面積 44,900m² 容積対象延床39,500m² 商業施設 7,825m² 駐車場 110台 設計・監理 株式会社 竹中工務店 施工 株式会社 竹中工務店</p>
--	--



があるよ」と訴えているようにも思えます。「我が」、「我が」と個性や自主性を追及するあまり、回遊性の無いバラバラのビルが多い中、利用者の利便性を考慮の中心に据えたプロジェクトの結果だと思えます。地下部分も、様々な勝手な理由で生じてしまった、周辺地下街の段差(最大1.8m)をエスカレーターやエレベーター、スロープを計画的に配置する事で、車イスの方の移動も楽になっているそうです。個々の有名ブランドショップは、各専門誌に紹介されていますので、ここでは触れないで商業スペース全体の考え方に、スポットを当ててみました。似たようなケースで思い当たるのが、東京の二子玉川の高島屋と専門店のスペースです。ここは、高島屋と道路を挟んだ専門店街を、ブリッジと外部テラスで計画的に繋ぐ事で、回遊性が高まり集客力も上がり、売り上げも伸ばしているようです。しかし、このケースは高島屋と系列のリーシングをしている会社で計画したもので、今回の西梅田開発のケー

スでは、それ以上の問題が多々あったと思います。今後、大阪駅周辺は阪急百貨店の立て替え、大丸百貨店の増床、三越百貨店の出店、等々、大型の商業スペースが目白押しで、大型商業施設の面積は、2011年には現在より10万m²増の47万m²となり、東京・新宿(32万m²)を抜き日本最大の流通激戦区になるでしょう。それぞれの商業スペースが個々の魅力を上げるだけでなく、地下や空中回廊で結び、駐車場の共用化等も含めて梅田地区全体の回遊性を高めれば、より利用者にとって魅力のある「街」になると思います。また、JCDのメンバーの多くの方がこの両ビルの設計や施工に携わっています。例えば、ENTの5F飲食フロアは(株)スーパーポテの杉本貴志氏。oyster bar & charcoal grill MAIMONは(株)ムーンバランスの辻村久信氏。インヘル・エクスヘルは(有)文

田昭仁デザインオフィスの文田昭仁氏。ブルガリ、オメガ・ブティックは(株)フレスコの足立和夫氏。彩箸、スタージュエリーは(有)グラマラスの森田恭通氏。美食「米門」、パタン・ブルーは(株)カフェの森井良幸氏。ゴディバは(有)飯島直樹デザイン室の飯島直樹氏。グッチ、イブサンローラン、ボッテガベネタ、コーチ、SONY Style、は(株)乃村工藝社。まだまだ多くの方がおられると思いますが、私が見る範囲で列記してみました。興味のある方はデザイナーは誰か? という視点で各ショップに足を運んでみてはいかがでしょうか。今回、取材にご協力いただいた阪神電鉄の大地さん、ヒルトンプラザ事務局の田中さんには、色々なエピソードを聞かせていただきました。ありがとうございました。お礼申し上げます。

「ハービスENT おっさんがゆく!」

寺井義和

「ハービスPLAZA ENT」に行ってきました。嫌な予感はある中でした。ヒロシ風というと「おっさんが一人で歩くところではなかったとです」おっさんです。そう、私はこのハービスENTに迷い込んだ変なおじさんです。それも一人で。しかし、そんなことも言っておられないので、レポートとして私の感じたままをご報告させていただきます。空間は、劇場的空間をイメージしているだけあって、茶系を基調とした落ち着いた重厚な雰囲気をかもしだしています。施設内に流れている音楽も、ヒーリング音楽やシャンソンが流れ、大人の商業施設といったところでしょう。そんな中でも、個人的にいいなと思った空間は、5階の飲食のフロア全体です。この施設に違和感なく溶け込んでいました。店を見ている、無機質な空間はどうもこの施設にはあっていないようです。自然を取り込んだ空間や和の空間が良く似合っていると感じました。確かに、個店、個店にはコンセプトや基

本的なスタンスや色があるのだと思いますが、施設内の色や雰囲気に合わせていることができるならどんなに素晴らしいことでしょう。そんな5階にあるモード和食「笹」は、昼時ということもあり長蛇の列でした。そして主役は、やはり女性。それもいわゆるセブな方が中心のように見受けられました。ここを、「おじさま」とかわれながら美人女性と歩いていたら、さぞかし最初の感想にはならなかったように思います。しかし現実かというと、ひっこみ事案な私は、どこの店にも入ることができませんでした。昼食でもと思っていましたが、結局入りませんでした、というより入ることができなかったとです。悲しかったとです。そう、私はコンセプト外の男だったといえるのです。そんな悲しさと疲労感を引きずりながら、おっさんは昼飯(ひるめし)を食べに、堂島地下センターへ消えていくのでした。そこには、まだおっさん天国が存在していました。

《疲れ・ストレスを癒すお店マジヤ》 ~あなたの「オーラ・チャクラ」をチェックしませんか~

友田みのり

オーラって何?オーラについて文献や絵は古代から数えきれないほどあります。なかでもよく描かれているのが、頭のまわりの光で、宗教の世界で「後光」と呼ばれるものであり、中国や日本の絵画に描かれている菩薩や仏陀の頭の周りにも、1つあるいは3つの輪が描かれています。又、後光がさしたキリスト教の聖人の絵画は私たちにもなじみのあるものです。オーラが見える人たちは、個人を包み込んでいる光であり、ふつう一色、ときにはたくさん色で構成されているといえます。現代ではオーラが電磁場に関連するものであり、磁気がすべてのものから、放出していることはよく知られています。身体からおよそ12.5センチ~15センチの位置から広がるこの生体エネルギーは、普通の視力では見えない範囲にあり、霊視とも呼ばれる領域に存在します。オーラそのものは、体内エネルギーの小さな「七つの渦のスピル」によって生じます。この不思議なエネルギーの名称は、サンスクリット語で「チャクラ」と云われ、頭のとっぺんから股間までの間にある7つの「光の輪」で、体内の「7つのエネルギーセンター」でもある。それぞれのチャクラには意味があり、各チャクラの色や形で心と身体バランスをチェックできるのです。又、「オーラ」は人の身体まわりを取り囲む七層に輝く光。この層に私たちの身体や心の状態、そして可能性や人格構造などの情報が入っています。この光の色を写し出すことによって、本当の自分の心と身体の状態を知ることができるのです。心身のストレス解消にぜひご利用を!



マジヤ
maja ハービスエント大阪店
ハービスPLAZA-ENT・3F
TEL:06-6451-7255



「これで商店街は蘇るか？」今里新橋通り商店街 PART-3

「遊ぶ」・「学ぶ」・「商う」街の茶の間としての「笑店街」づくり

～子どもが主役の多様な関わりと共感で絶対的な価値をつくりだせ～

「商店街」はものを売るという単体価値より コミュニティセンターという新たな価値として再編集せよ!

今里新橋通り商店街に限らず、ほとんどの商店街が衰退の途をたどっています。これらに対して、さまざまな処方箋が施されていますが、「焼け石に水」といったところも少なくないはず。今やスーパーに対抗しようと試みても、価格や商品構成などからみても競争にならないことは、歴然とした事実です。

商店街が「消店街」にならないためには、「ものを売り買いくところ」という常識的な発想や考えをやめにするところから始めてみるのが、大切なのではないのでしょうか。

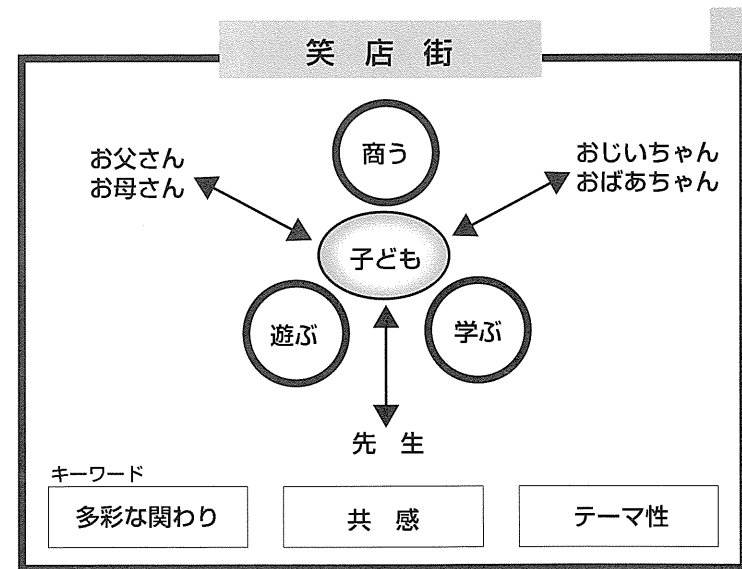
それでは、何がいったい商店街の魅力となるのでしょうか。それは、地域の人々との多様な関わりと共感ができる街の「茶の間」としての、コミュニケーションセンターというポジショニングを創り出すことにあるのだと思います。

昔、茶の間とは、おじいちゃんやおばあちゃん、お父さん、お母さん、そして子どもがいた空間だったように記憶しています。食事をしたり、テレビを見たり、おじいちゃんやおばあちゃんは、孫に行儀や作法を教えたり、学校であったことをあれこれ聞かれたり、将棋やおしゃみなどの遊びを伝える有機的な空間であったわけ。3世代が関わりながら喜怒哀楽いっぱいの生活の中心空間だったといえます。

街の茶の間としてのこのような役割を商店街が担うことができれば、蘇るきっかけになるのではと考えてみました。やはり茶の間の中心は、子どもです。茶の間づくりのために「子ども」という存在はかかせません。

そんな子ども達を中心に周囲の人たちを巻き込みながら、超アナログな「笑店街」へと再編集するシナリオづくりを、今回は提案してみました。

コンセプト



子ども達を核とし、「遊ぶ」、「商う」、「学ぶ」ことで、店主、父親、母親、おじいちゃん、おばあちゃん、先生などと多様な関わりと共感をつくりだし、超アナログな街のお茶の間空間として、「商店街」から「笑店街」へと変身させるのが今回の提案です。

大阪の芸人のスーパースター藤山寛美さんが「芝居は街づくりや」と言っていたらしい。芝居に人が集まり、そんなお客を目当てに店ができていく。このように今後は、「コト」おこし的な発想が必要とされているのではないのでしょうか。



空き店舗の前で、剣玉パフォーマンス。子どものイベントにも関わらず、高齢者の人でにぎわっている。

シーン.1 「遊ぶ笑店街」の巻 むかしながらの遊びを縁日のように定期的開催

商店街の周辺地域には、昔ながらの伝承遊びができるおじいちゃん、おばあちゃんが、必ずいます。

そんなおじいちゃんやおばあちゃんに商店街に出てきてもらい、まずは定期的に月に2度ほど「野遊び縁日」(イベント)を開催していきます。この商店街でも金魚すくいなどのイベントを実施していますが、もう少し踏み込んだ形で、パリエーションを持たせながら展開していくことが大切だと思います。

昔ながらの遊びのこま回し、けんだま、べったん、かたぬき、あやとり、おしゃみ、わりばし鉄砲、板返し、ピー玉、ベーごま、将棋、

囲碁など、空き店舗の前や空き地で、おじいちゃん、おばあちゃんが先生となって伝えます。今流行のカードゲーム大会を取り入れ集客力をアップするのもいいでしょう。定期的で開催することで、口コミで広がりをもたせ、子ども達同士はもちろん、親子でも出掛けて来るようになってきます。

最初は小さく始め、人が集まるようになってくれば、駄菓子やたこ焼き、ポン菓子、一銭洋食、綿菓子やスマートボール、吹矢、ふな釣りなどいわゆる露店仕立ての出店も許可をし、バラエティーあふれる楽しさを演出していきます。

イベントを通じて、one to oneのリレーションがこちらこちらにでき、少しずつ店の人も顔なじみになり、あのおばあちゃんの豆腐屋さんで豆腐を買おうというようになっていくのです。

縁日を通して、顔なじみという有機的な関係をつくりだすことが、街の茶の間づくりとしての「笑店街」にはかせません。

シーン.2 「学ぶ笑店街」の巻 学校と連携して商売体験という学びの場をつくる

次に、小学校などと連携しながら、商売体験を笑店街とともに実施していきます。まずは、子ども達自身で作ったものやいらなくなったおもちゃなど、空き店舗の前で子どもフリーマーケットといった、商売体験の場として活用してもらいます。さらに、各商店で子ども達の手によって接客する本格的な労働体験の場としても展開していきます。

先生や親やおじいちゃん、おばあちゃんにお客様になって来店してもらい、子ども達は店の人の指導のもと、実際に商品を作ったり、販売まで手がけます。参観日として設定してもおもしろいでしょう。

このように子どもたちの商売を通じて、子どもと店と学校の先生、そして親や祖父母といった、多様な関わりが広がるのが可能になってきます。子どもたちは、学校帰りに自分が働いた店

に寄ったり、親といっしょに買い物に訪れたり、学校の先生が買い物をするなど、来店機会も増えてきます。

また、商店の人も「ようこそ先生」という番組のように、接客マナーのこと、豆腐の作り方、時計が動く仕組みなどを教える学校へ行くことも一考です。

未就学児童をもつお母さんなどに、空き店舗などを利用して、「子育てセミナー」や「離乳食づくりのセミナー」なども開催するなど、「笑店街」へ来てもらえるような「子育て交流サロン」として学ぶ場を開催することも、来店誘導となる一つの方策といえます。

つまり、学びの場として機能することは、店主、先生、親、子ども等といった世代間に交流が生まれ、笑店街への親密さも増し、最終的に、来店頻度が多くなっていくのです。

シーン.3 「商う笑店街」の巻 こどもを対象としたテナントを空き店舗に誘致

シーン1や2で、子どもを中心として親、祖父母、先生、商店主との交流を通して、有機的な関係が充実してきたところで、ハードも整備していくことが大切だといえます。

カラー舗装には、子ども達の絵を使用し、ろうせきで地面に絵を描ける所をつくるなどの配慮も必要でしょう。思い切って、路面は土にすることも考えてもいいかもしれません。

そして真ん中には、シンボルとなる木を植え、高齢者の憩いのひと時やこども達の待ち合わせの空間も提供し、出会いを演出します。地主と交渉し組合で空き地を借り、ピー玉などで自由に子ども達が遊べたり、お年寄りのガーデニングの空間としても活用できればいいことありません。

店は、駄菓子屋、キッズクリニック、保育所などの子育て支援ルーム、理科の実験道具や人体模型などを販売する東京にある「ザ

スタディールーム」のような教育雑貨の店、キッズ美容院、キッズインテリアの店など、子どものことなら「今里新橋通り笑店街」といったように特化していきます。

古本屋さんもありましたが、漫画や絵本などを専門とした古本を扱ったり、子ども服のリサイクルショップや離乳食の惣菜屋さんなどもおもしろいのではないのでしょうか。

ゲームセンターもデジタルではなく、昔ながらのスマートボールや吹矢、ふな釣り、将棋、囲碁などの超ローテクでハイタッチなセンターをつくることも必要だと思います。

このようにソフトとハードが充実してくれば、自ずと、近隣の子どもはもちろんのこと、それにつられて、親、おじいちゃん、おばあちゃん、そして学校の先生までも日常的に集まって来るようになってくるのも夢ではないのです。

「スーパーに対抗する」、「流行を追う」といった土俵から今すぐおりるべきです。

最後になりましたが、商店街の活性化は、アーケードでもカラー舗装でも、駐車場の整備でもないと思います。

他人がつくった価値ではなく、商店街は、自分達で魅力的な価値を作っていかなければならないのです。

商店街は、ウフベとマニアワセの発想から、まずは地域の間が、楽しむことのできるライフスタイルの場として、発想の転換が必要です。

対抗や流行といった土俵から今すぐ降り、テーマ性を重視し

ながら、小さく考え、小さく行動し、お客を絞り、顔なじみをつくること、これからの商店街を救う手立てになると信じています。

そして何よりも、街から商店街が「消店街」に、子ども達が少子化ならぬ「消子化」にならないようにしていかなければならないと、昨今の世相から強く感じるのは私だけではないでしょう。そんなことを願いつつ、少しでもこの提案が、活性化のヒントになれば幸いです。

寺井 義和

研究委員会小セミナー

第2回小セミナーでは、谷町筋と松屋町筋の間、長堀通りの南側一体のからほり商店街周辺の古い屋敷や100年以上前の長屋などの再生を図っている「長屋再生プロジェクト」の六波羅雅一氏に、再生地区の歴史や立地条件、活動の意義や方針などの目的について、ご講演をいただきました。

研究委員会主催 第2回小セミナー
 日時:平成16年11月9日(火)午後6時30分~8時
 場所:「萌」直木三十五記念館
 講師:建築家 六波羅雅一(六波羅建築研究室代表)
 参加者:21名

空堀商店街界隈長屋再生プロジェクト

●再生長屋の概要

長屋を再生した「惣」「練」「萌」という名称の建物は、地下鉄谷町6丁目駅・松屋町駅下車すぐのところに位置し、快適で楽しい癒しの空間となっている。

「惣」とは、築90年以上の長屋を再生し、5つの店が集う複合ショップ。カフェやギャラリー、アクセサリーなど個性なお店がミックス。建物は少し傾いているが大丈夫とのこと。かつての熊野へ通じたおはらい筋に面し、周りのお店や坂道、祠もあり魅力的なところ。

「練」とは、100年以上の建物を再生し、14のショップで構成。歴史ある建物だけに優しさや安らぎを与えてくれるところ。本物の美味しさを提供するチョコレート専門店やカフェ、レトロ雑貨、インテリア雑貨、おばんざいのお店など、わくわくするお店がいっぱい。

「萌」とは、複合文化施設。直木賞にその名を残す直木三十五記念館が入った施設。この地に根付いた文化が芽生えてほしいという思いから名付けられた。多国籍アート雑貨や自家製麺パスタ、天然酵母パン店など8テナントで構成。

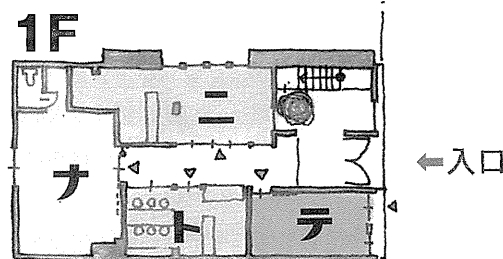
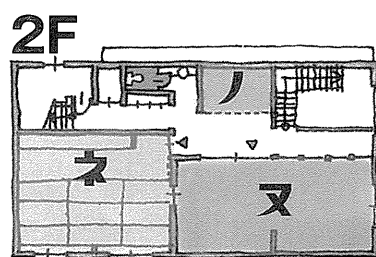
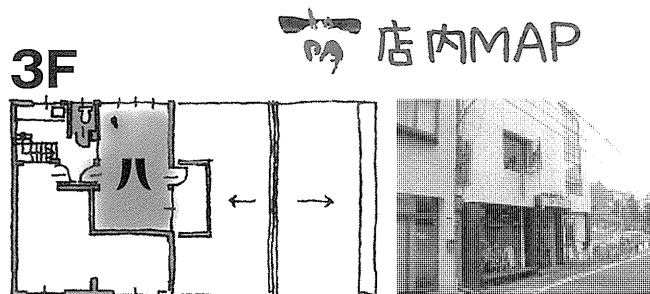
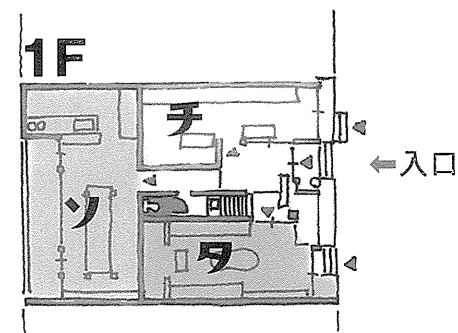
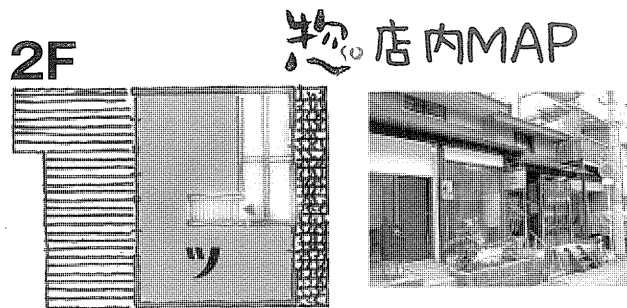
●空堀商店街界隈の歴史は

秀吉が大阪城を造った15世紀末ごろ、大阪城の南にある外堀が、現在の空堀商店街付近である。上町筋から谷町筋までほぼ平らになっているが、当時は坂道や崖が続いており、今でも空堀商店街は西への下り坂になっている。

この周辺は、戦災で焼け落ちることがなかったため、大阪市内の中心地でありながら土地の勾配をたくみに利用した町屋、路地に面して立つ古い長屋等、昔ながらの風景が残っているめずらしい街である。

●素晴らしい立地を活かした長屋再生へ

東西南北の賑わいのある街に囲まれ、人の流れがすぐそばまで来ている立地である。現在、既存長屋を維持することに問題があり、建築規制の変化や土地の分割等により、路地にしか面していない敷地には新たに建築することができない。



老朽化した長屋を解体して更地にすれば、建築許可がでないため空き地になったままの状態になり、亜鉛鉄板等で安易に修理されてもまた朽ちていくことを繰り返している。中には崩れたままの長屋もあり、極めて危険な状態であり、素晴らしい立地でありながらその長屋や空き地は売買や賃貸にも応えにくい状態である。

●これからのまちのあり方

住みやすく魅力あるまちという内外の意見は、歴史ある街並みや長屋を中心とする環境、趣から来ている。それらを保存・再生することは、まちの持つ魅力を保存・再生することである。このまちを活かし、更に住みやすく魅力あるまちを創造していく。

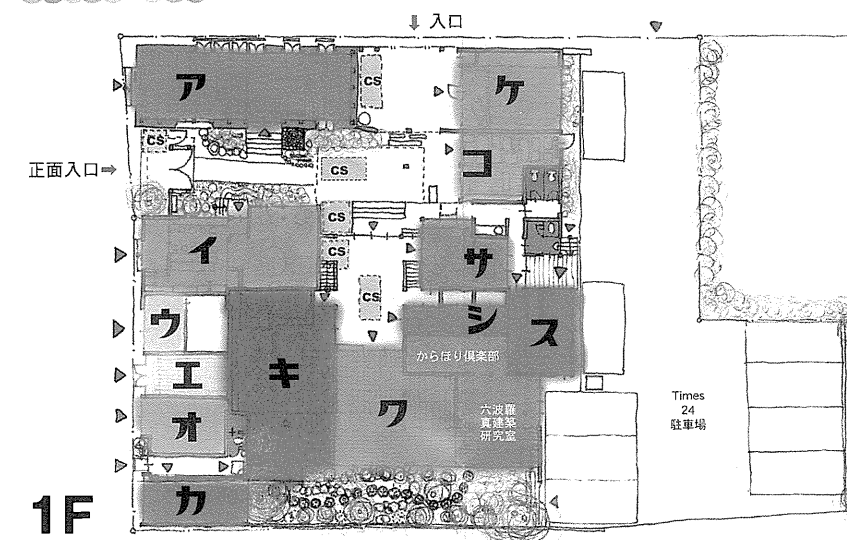
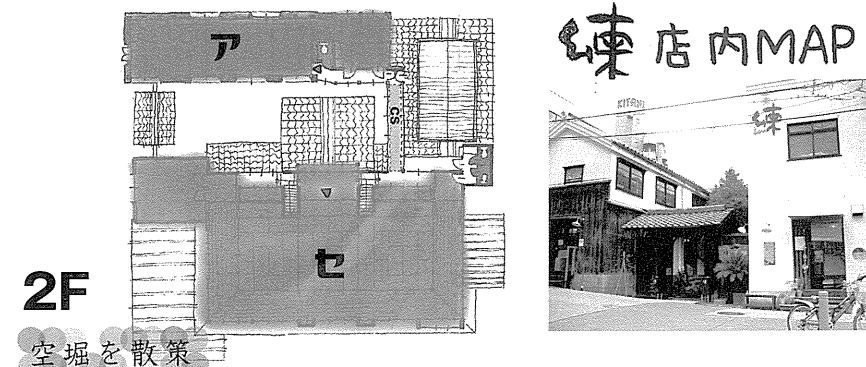
もともと商店街を核として発展してきたこの界隈の魅力のひとつは、交流である。幸いこのまちで商売をしたという人も多く住んでいる。このまちを理解し、受け入れられるエネルギーを持った人達に集ってもらい、いまの魅力的な商店も含めて、住民はもちろん来街した人達がワクワクするようなまちを創造していく。

ただ古いのもだけが良いわけではなく、それらの持つ他にないまちの魅力を継承し、新しい世代や文化の中で、さらに意味あるものになりたいと考えている。古いものの持つ良さを新しい世代や生活の中に位置づけることで、新旧世代・文化の共生するまちを創造していく。

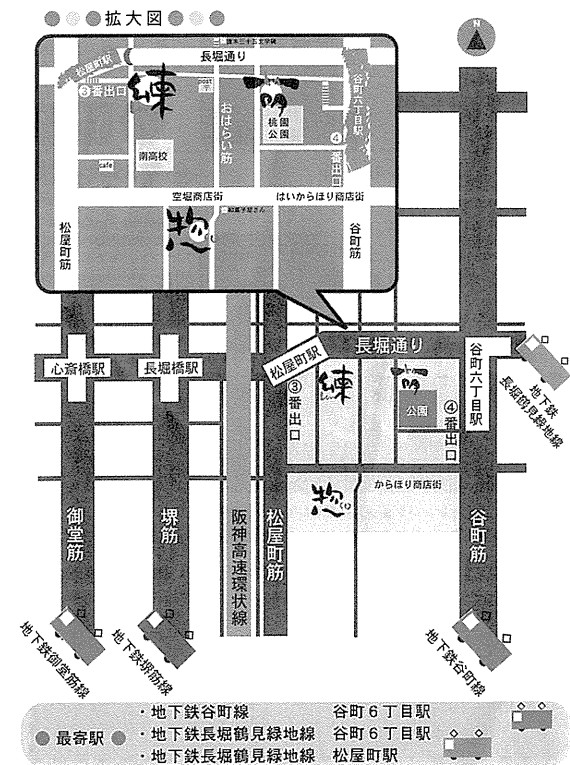
●からほり倶楽部とは

空堀商店街界隈長屋再生プロジェクト「からほり倶楽部」は、空堀商店街界隈の良さを活かした、住みやすく魅力あるまちの創造を目差して集まった組織である。六波羅雅一を代表理事として、商店街関係者や建築家、市民など、目的に賛同する126名の会員で構成されている。

2001年4月にプロジェクトが発足し、まちあるきワークショップやからほりアート、フォトコンテスト、各地での講演会などの活動を行っており、賛同の輪が広がっている。



萌練惣MAP



研究委員会 出口 巳幸

商環境フォーラム

JCD/DAIKO商環境デザインフォーラム2005開催

「商環境デザイン —世代による関わり方の相違」

今年の商環境デザインフォーラムはテーマにもありますように、世代の異なる3名のデザイナーがパネラーとなり、デザイン論やデザイナーとしての仕事への取り組み方などについて語っていただきました。

公演は、初めに各パネラーの自己紹介を兼ねて作品の説明があり、コーディネーター役の前田会員の進行で進められました。また、公演終了後は、ドリンクパーティでにぎやかに盛り上りました。以下に公演でちょっと耳に残った各パネラーの発言を羅列します。

JCD/DAIKO商環境デザインフォーラム2005
 会期:2005年1月21日(金) 午後6時30分~8時
 会場:DAIKO大光電気(株)本社ショールーム
 ライティング・コア大阪
 パネラー:野井 成正 野井成正デザイン事務所 代表 (JCD会員)
 道下 浩樹 道下浩樹デザイン事務所 代表 (JCD会員)
 野口 和之 JCDデザイン賞2004新人賞 受賞
 コーディネーター:前田 穂積 (株)乃村工藝社 商環境カンパニー (JCD会員)

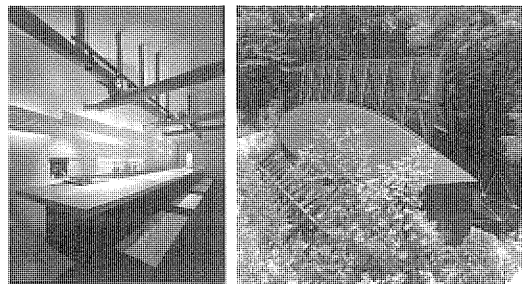


今年60歳の野井さん



主な作品.....
法善寺横町 パー川名(写真左)
万博公園迎賓館 風詩の教会(写真右)

- 大阪万博が衝撃的であった。
- 映画が好き。映画から受ける影響で「人がかかわって来たときに溶け込めるような空間」



- 若い頃は自分の思いを主張していたが、最近、施主の顔色が気になってきた。
- 未だにT定規と三角定規で図面を書いている。コンセプトを創るまえにデッサン力、イメージする力が大切。システム化されればされるほど本質的なものが薄れていくのが気になる。

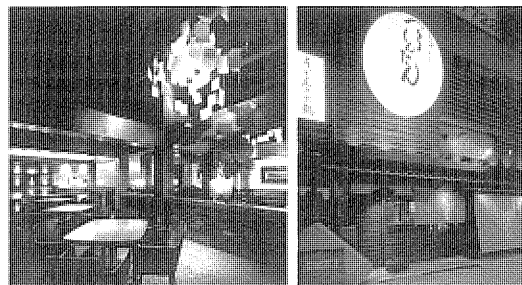
を意識している。

業界で25年くらい仕事をしている道下さん



主な作品.....
cafe奈良PINOCCHIO(写真左)
つるとんたん宗右(写真右)

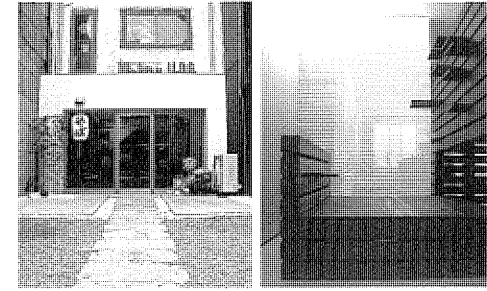
- 最近、感動する作品が少なくなってきた。近藤康夫の「すし屋(喜楽)」が心地の良さそうな空間でいいなあと思った。



- 17年くらい前に野井さんと一緒に仕事をしてかなり影響を受けている。
- 野井さんは野井さん自身がコンセプト。だから、野井さんのデザインが好きなのは、野井さんに頼む。コンセプトは、必要だと思う。
- 自己が確立していないデザイナーが多いので(自分も含めて)メディアに動かされている可能性が強いと思う。

今年JCDデザイン賞新人賞を受賞した野口さん

- 自我を出したいが押えるところは押えてデザインしている。
- 当然、予算があるわけだからそこに落ち着く。
- 業界での仕事暦6年。仕事への取り組み方については、まだまだ模索中。
- コンセプトは大事にしている。
- 図面は、ほとんどCADで書いている。そのほうが簡単だし、簡単なほうへ流れる。コンセプトもそうするほうが簡単だから。



.....主な作品
ときのさい(写真左)
MARUTAMA BUILDING(写真右)



研究委員会 久保田 博文

日本の空間デザイン2004開催

毎年恒例となっています「日本の空間デザイン展」が本年も5団体の共催により「デザインギャラリー」で開催されました。

JCDでは毎年JCDデザイン賞の受賞作品が展示されますが、今年は、「ビーンズダイニング ソヤ」と「LANVIN BOUTIQUE GINZA」の2作品が審査評を二分する結果となり、大賞の該当無しという結果となりました。この2作品は他団体のデザイン賞も受賞していて、注目の作品であったことがうかがってました。

各団体ともこのデザイン展にはかなりの労力と注いでいるのですが、会場へのアクセスに難点があり、足を運んでいただく方が少なく、多くの方に見ていただけないのがちょっと残念です。

また、デザイン展の開催に先立ち12月8日(水)には、各団体の関係者や主催、協力団体の関係者が集まり「オープニングパーティー」がにぎやかに開催されました。団体間の交流や親睦にひと時を楽しく過ごしました。

日本の空間デザイン2004
 会期:2004年12月9日(木)~12月14日(火)
 会場:ATC ITM棟10階
 大阪デザイン振興プラザ「デザインギャラリー」
 主催:大阪デザイン振興プラザ
 協力:財団法人大阪デザインセンター
 出展・共催:社団法人日本商環境設計家協会(JCD)
 社団法人日本ディスプレイデザイン協会(DDA)
 社団法人日本サインデザイン協会(SDA)
 社団法人日本インテリアデザイナー協会(JID)
 有限責任中間法人日本インテリアプランナー協会(JIPA)



研究委員会 久保田 博文

ビジョン委員会として活動を始めて一年が過ぎました。委員は皆、忙しい方々ばかりでなかなか委員会への参加が困難な様子。そこで定例委員会も、場所を設定して行う従来の方法ではなく、メールを利用したりと工夫をしながらの活動期間でしたが、あまり状況は芳しくないのが現状です。

そんな中、3/7(月)に京都・新風館で、久々に委員の方と直接お会いする形での委員会を開きました。当日は、それまでメールでやりとりをしていた議題内容を確認すると共に、次年度の具体的な活動方針及び内容を決めようという目的で行いました。以下、その内容を報告させていただきます。

① 業務上の法的な相談ができるシステムについては、協会として関わるのではなく、個人的な紹介の範囲で行う形式に留める。

② 大光電機(株)主催・JCD関西支部協賛で行われるコートークのパネラー選出及び推薦は、テーマの設定を『人』又は『内容』に分け決定する。

人選に該当者がいないというような非常事態には、当委員会の委員が自ら頑張ります!

③ 海外のデザイナーを招いてのセミナーに関しては、規模等解決しなければならない問題が多々あり、当委員会だけでは到底手におえないのが現状。

但し、JCD関西支部及び本部に要望として依頼を挙げる方向でテーマは残しておく。

④ 関西支部のHPの立ち上げ

以前から他の委員会でも度々話題に上っていたホームページの件ですが、当然の事ながら「予算」・「メンテナンス」等々、同じような問題点を中心に議論をしました。ただ、「あった方が良い」という意見を押し進めるべく、どのようにすれば可能なかを具体的にひとつひとつ解決してゆくつもりです。

- ・費用を如何に捻出するか。専任の従事者が必要。名簿的なものではなく、もっと実用的で広く活用されるHPにする。
- ・住宅を設計する際に最近一般的になってきた建築家サイトの、「商業施設版」も兼ねる。
- ・会員個人のアピールを明確に打ち出す。
- ・協会の存在を現実的に認知させる。
- ・賛助会員も含め、利用価値の高いコンテンツを充実させる。
- ・業界紙に代わる存在でありたい。

——など様々な点で、関心の高さを感じさせる、興味深い実際のアイデアや意見が活発に出されました。

このHPを実現する事で、インターンシップ制度やオープンデスクなど、次世代の業界を担う人材へのアピールと発掘にもつながり、JCDに向けられる興味や積極的な参加意識を高める事も可能だと思います。

委員会の活動としては、現実HPを立ち上げる作業ではなく、有効活用される事を目指す為の準備期間としての積み重ね作業として一年間を費やしたいと思います。

もちろん、役員会や計画されている賛助委員会を含む各委員会との協力と連携が必要不可欠となりますが、JCD関西支部の有望な未来に向けての一步として、ビジョン委員会の今後の活動の柱としたいと考えております。

当日はその他に、支部事業への参加状況に関しても話題に上り、参加に積極的になれない理由として

「同好会的で参加意義が見出しにくい」

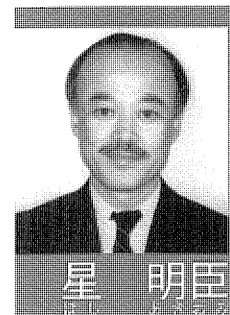
「賛助会員との関係が築きにくい」

など、現状に若干批判的な意見がありましたが、会員個人が活動的に動く事で改善の余地があることも確認できました。

その中で、「参加会費が高い」という理由に対しては、協会への入会勧誘のために誘い出しにくいという内容が含まれていましたので、座談会形式で会員若しくはその知人を招いて“勉強会”を計画する事も試みる事になりました。他委員会の活動と重なる部分もありますが、少しでも多くの人がJCDに触れる機会が増える事になるので、『役にたつJCD』のほかに『参加しやすいJCD』というビジョン委員会独自の視点でやってみようと考えています。

尚、今年度の委員会の開催は、メーリングリストにて委員を登録の上メールでの開催を中心とし、重要事項の決議など必要に応じて場所を設定して委員会を行う方法で進めることで委員各自の了承を得、当日の委員会を終了しました。

ビジョン委員会 末浪伸浩



(有)ホロン環境計画

東京都大田区蒲田3-15-11
TEL:03-3737-7078
FAX:03-3737-7106
E-MAIL: holoan@interlink.or.jp
JCD関東支部副支部長・理事
趣味: スキューバダイビング
アンティーク・クロック蒐集

これ迄私が長く関わってきた分野は、大型量販店(G.M.S)やそれが核となったショッピングモールのデザイン・設計が殆どで、地方への出張が多く、沢山の町を訪れました。そんな私は、自分の住む街に自分でデザインした店が一軒くらいあったらいいな。気軽に立ち寄れて、気心の知れた仲間と一時を楽しく過ごす、そんな場をつくれたら…との想を常々抱いていました。2年前、この願いがひょんなきっかけ=石井誠二さんとの巡り合わせ=で叶えられ現実のものになりました。

石井さんは30年程前に、札幌で「つぼ八」を創業、以来20年の間に全国に500近くの店をつくりあげた居酒屋の達人だった。共同経営者の伊藤萬(イトマン)の謀略でスタモングの末、社長解任、手塩にかけた「つぼ八」から抛り出されてしまった人です。

「つぼ八」時代からの教え子、居酒屋「ワタミ」の渡辺美樹社長は当時のことをインソップの寓話に擬えて、「石井社長は、黄金の卵を産み続ける類まれなガチョウです。イトマンは何を思ったか、もっと黄金の卵を欲しがってガチョウのお腹を裂いてしまった。」と語っていました。

暫くの冬眠(?)の後、石井さんは「俺には居酒屋しかない」と捲土重来を遂げて(株)八百八町を立ち上げ、現在、株式公開を目指してパワフルに活動中。

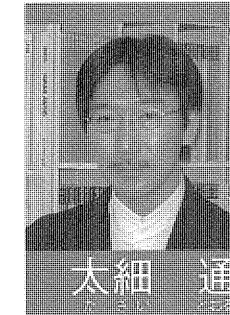
そんな石井さんの考え方は、

1. 店は5年保てばよい。
2. 遊び心・開放感・個室感重視・遊べ遊べ、詰め込みすぎはダメと80坪の店に20坪の池を造ったり。

私はといえば、自分が一番楽しめ、くつろげる空間・空気づくりなのだから、至って楽しく気が楽だ。

JCDの前田専務に、「星さんの仕事はシーンメイキングだね。」と言われましたが、正しくその通りで、私の店づくりの発想は、その土地々に潜む地霊と心を通すことから始まる。大人のデイズニードづくりの意識で取り組んでいる。こんな調子で、あらためて数えてみると15店にもなっている。

いつの間にか居酒屋づくりにドブプリはまってしまった私を、もう一人の私がじっとながめてはニヤニヤ・ハラハラしている…最近の私です。



(株)西原研究所 代表取締役所長

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-8
TEL:03-3405-0811
FAX:03-3405-0962
E-MAIL: nps@mars.dti.ne.jp
JCD関東支部 副支部長
本部国際委員会 委員
趣味: A7Z、パズル活動

先日、「人体の不思議展」というのを見た。昨年の秋頃から東京国際フォーラムで開催されていたのは知っていたが、なかなか見に行く機会がなかった。本来は、確か9月から2,3ヶ月の期間だったと思うが、非常に好評のようで、今年2月末まで延長されたのでなんとか機会を作り、見に行くことができた。日曜日の夕方に入場したが、超満員でぞろぞろと行列をなして展示を見る状態で、先を見ることのできないでショーケースにたどりついていきなり仰天という連続であった。

何が展示されているかという、人体そのものの標本で、本物の人体または人体のパーツである。以前はこういう標本的なものは本物であればホルマリン漬けて相当グロテスクであったと思うが、今は技術が発達したもので、ホルマリン漬けた後、何ヶ月もかけて塩分を取り、特殊な加工で体全体がプラスチック化されているのである。皮膚感覚もなめらかで肌色で、生きているようであった。また、その展示内容がすごい。全身を頭から足の先まで3センチ間隔で輪切りにされていたり、同じ位の身長の人を8人くらい立ったまま並べて、皮膚があるものから皮膚をとったもの、筋肉がみえているもの、内臓だけになったものと順に並んでいて最後は骸骨になるというストーリーの標本もあった。最も感激したのは、全身の血管(毛細血管まで)に特殊な樹脂を流し込み、血管以外のものを全て取去った血管だけの人体標本である。一体、どうやってこんなものを作ったのかしばらく考えこんでしまった。

とにかく、内容はすごかった。だって、本物の人間なのだから。しかしながら、展示の方法には、疑問が残った。つまり、医学として教育的な展示には到底思えなかったからである。例えば、筋肉と骨だけの人体が走っている姿で展示しているのだが、その筋肉が風にあおられてバラバラになっている様とか、頭部のない人体が自分の頭部を手で持っているとか、筋肉だけの人体が槍投げをしている様など、どうしてそんな不謹慎なディスプレイをするのかと。。。輪切りだけでも相当にインパクトがあるのにそんなことまでする必要あるのかと。。。医学のために役立つ欲しいという思いで献体したのになんか人集めのピエロにされているのではないかと。。。献体した方の身内が見たらどう思うだろう。

私はなんかモラルの無さを感じてしまい、もう変な気分になって出口に向かったのだが、また、出口でそのミニチュアがキーホルダーとなって売られているのを見て、愕然とした。もう、なんということか!!!

帰り道、私は、もう何故かおなかいっぱいという感じで、この変な気分をどうしようかと思って歩いていると、連れが「ねえ、なんか肉食べたいねー。」と言った。女は強い、と思った。

新入会員紹介

今回のWORKING NOWはここ数年の新入会員、本年度の新入会員と新規賛助会員の御紹介です。

ここ数年で多くの方がJCD会員になられて活動されています。既にWORKING NOWに登場された方もいらっしゃいますが、まだ御登場願っていない方々、一挙!に御紹介です。新しい風をお楽しみください。

また新規賛助会員の方々は今年度より賛助会員になられ、既に賛助会員としてJCD活動に参加・協力されています。ぜひ交流を!

宇川 邦彦

この度、JCDに入会しました大昌工芸(株)の宇川邦彦と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

関西支部より自己紹介と言う事でお話がありましたので、あまり人様にお話できる経歴はございませんが...

大学を卒業しましてから、アパレルに就職し二十三年間、百貨店担当の営業畑を歩んで参りました。一昨年から現在の会社にお世話になっています。施工やデザインができる能力はないのですが、弊社も百貨店の取引がございますのでアパレルメーカーを百貨店にご紹介したり、また逆の場合もありますので、まずはそういう営業的な仕事から始めています。JCDに入会させていただいたの機会に、いろんな方にお逢いし勉強させていただこうと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

- 2003.07 大昌工芸株式会社入社 企画営業課長
- 2003.08 ホテルオオクラ赤坂[クリイツップ]施工
- 2004.02 玉川高島屋[エトロ]施工
- 2004.03 吉祥寺パルコ[ベニーブラックマレーラ]施工
- 2004.04 六甲アイランドジェリー[コティ]施工
- 2004.08 心斎橋田中貴金属 ジェリー施工 企画営業次長
- 2004.09 クリムゾン[ニディア]阪急施工
- 2005.02 くずはモールプロゼクト参入

※前職がアパレルに勤務してた関係で百貨店へのアプローチで物販物件の施工

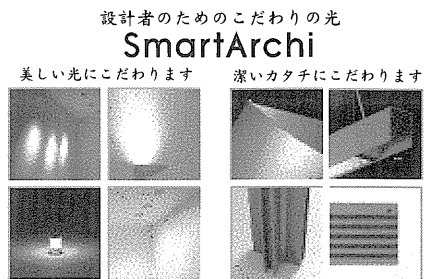
加藤 義行

人との出会い

1991年に松下電工(株)へ入社いたしまして、今年で13年が経過いたしました。自身の仕事は入社以来、店舗空間向けの照明器具の商品企画開発の仕事に携わっております。現在までの仕事を通じて大切にしてきたことの一つに“人との出会い”があります。

私が初めて照明器具の企画開発の仕事をするようになった商品のデザインをある外部のデザイナーの方をお願いすることになりました。当初はデザインをしていただくことが主でありましたが、プロジェクトが進むにつれ、その方は駆け出しの私に業界のこと、トレンドのこと、新しい店舗のことなど、仕事以外にも様々なことを教えていただきました。そして機会がある毎に友人を紹介していただければ、様々な関わりを持つことができ今では自身が仕事する上で欠かすことができない人々が年々増えております。そのことを肌で体感して以来、私自身もそのデザイナーの方のように、“人との出会い”のチャンスを増えるべく行動するように心がけております。

私が今後取り組んでいくことの一つに、“明かりの価値向上”があります。完璧に作りあげた空間でも光のあて方ひとつで失敗することもありますし、光のつくり方を変えるだけで空間の質が向上することもあります。それだけ空間づくりにおいて照明は重要な要素であります。しかしながら、日本国内において“明かりの価値”はまだまだ低い状態にあります。JCDの活動を通じて一人でも多くの方に“明かりの価値”を理解いただき、そして最終的には日本国内の“明かりの価値向上”そして店舗業界発展の一端を担うべく尽力して参りたいと思いますので、今後ともご指導よろしくお願ひいたします。



新入会員紹介

衣笠 和宏

この度デザイン活動の幅広い情報の収集、共有ができればと思い、JCD個人会員に入会させて頂きました。



自然派 レストラン Sarara(サララ)
三重県四日市/バイク型レストラン

イタリアンレストラン BELLINI(ベリーニ)
現Rapporto(ラポルト) 大阪市東心斎橋

商業施設のデザイン、企画設計に携わり25年が過ぎ、最近では飲食店の依頼が主で業種、業態も様々です。

その中で大切にしているのは、訪れる人々が食事や色々な目的を持って来店される場所に、空気感が感じられる「場」を提供する事、個性的で印象に残る店を作るために、料理、サービスが中心になり立地や広さ、設備などの制約条件がある中で立体としての素材を選択し、色彩表現、音、明かり、視覚聴覚など体で感じる感覚に刺激を与えながら細部にまで気配りがゆきとどきデザイン的に処理し表現する空間を提供する、それが力づよいデザインにつながると信じて活動しております。今後とも宜しくお願ひ致します。

Spec Design WIN'97 衣笠 和宏

酒井 礼子

住宅メーカーや店舗設計の会社などを経て去年JCDに入会させていただきました。



Kram Design 〒632-0096 奈良県天理市小路町58-3 TEL:0743-64-1232 E-mail:reira2@aol.com

若輩の私のようなものが入会させていただき、大変恐縮しております。

主にはインテリアデザインや家具のデザインなどですが、グラフィックや3Dなどもしています。家具やプロダクトはオリジナルを海外などの展示会に出展したりしております。

見た目が良いだけの物ではなく、きちんと使えるもの、そこを使う人の視線になってデザインしたいと心がけています。今後ともご指導の方宜しくお願ひ致します。



塚田 佳弘

久々の登場です。

最近ではデザイン専門学校で教育の場でのお仕事と商業施設デザインのお仕事で日々忙しく過ごしております。

やりたい事がいっぱいありすぎて...結局出来ずじまいでいる時にふと何かを作りたい衝動にかられ、コピー用紙にペンを走らせていた時にパズルのピースが出てきました。

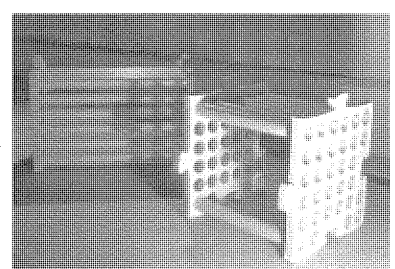
これをモチーフにデザインしてみようと考えはじめたらまずツールになり、シェルフ・テーブルと進化し子供が遊び道具として使える様な家具となりました。

「ドット・おす」と言うのはお着替え感覚とゲイセンにあるモグラたたきのイメージを合体した様な家具で、MDF合板と紙管との組み合わせが基本であり、1枚のピース

モジュールが420mmで、その日の気分や模様替えでサイズ変更が容易に出来るごくごくありふれたファニチャーです。

今回の制作に関しては、専門学校で私の助手をしてもらっています戸川君と一緒に汗を流しあふた、こうだいたいながら完成させたもので非常に充実感がありました。

現在量産を予定しております。ちょっと面白いなあと思っただきましたらご連絡ください。



問い合わせ・質問 tsukada@cdc.ac.jp

【特別企画】DDA・JCD・SDA合同チャリティ絵馬展

大阪府福祉基金チャリティ絵馬展は、当初、DDA会員/JCD会員の有志により第16回(平成8年)まで開催されてきた。JCDはDDAより第17回(平成9年)から正式に加入要請を受け参加しました。翌年、第18回(平成10年)からSDA(社)日本サインデザイン協会も参加され、三団体合同チャリティ絵馬展として開催される様になりました。

本年度で第25回の開催となり、改めて当絵馬展の状況を誌上にて紹介し、参加意義を理解頂きさらなる発展に向け多くの会員、賛助会員の御協力をお願い致します。

例年、義援金は必要経費(会場費、絵馬板費、郵送料、他)を差し引き大阪府福祉基金に寄付し、府知事よりJCDに対し感謝状を頂いています。

年度	第22回 2002	第23回 2003	第24回 2004	第25回 2005
入場者総数	1662名	1418名	1400名	1115名
義援金総額	215,317円	228,268円	266,720円	209,590円
総出品点数	120点	106点	131点	122点
総入札数	168点	149点	134点	134点
落札絵馬数	82点	88点	89点	79点
落札率	68.3%	83.0%	67.9%	64.8%

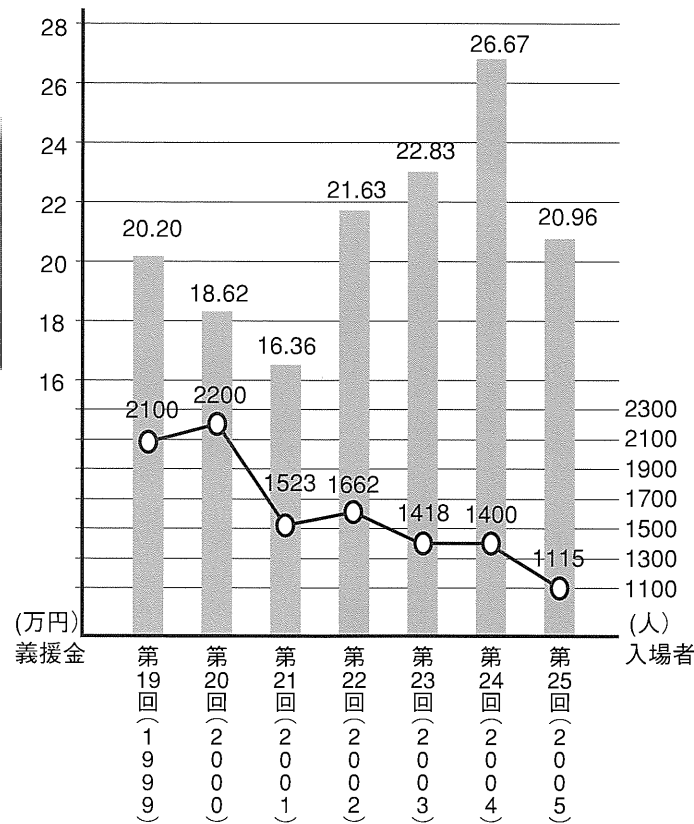
入場者総数はアバウトです。



平成16年3月30日
大阪府庁にて感謝状贈呈式



JCDより白井関西支部長、市川委員長(交流委員会)、大森 委員(交流委員会) 郷力DDA代表他出席されました。

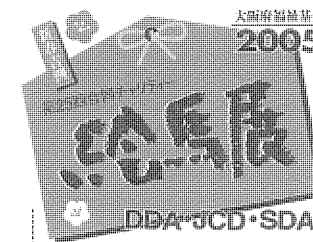


四半世紀にわたり新春吉例となっている絵馬展

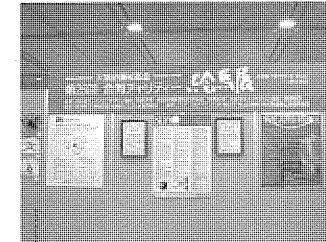
DDA/SDA会員の方々との交流や、入場者との交流も年々多くなり、来年から案内状を送って欲しい、参加したいので絵馬板を送ってほしい等、多くのファンを増やしてきました。作者の個性を表現した作品には常連の落札者や、毎年数万円単位で落札されるファンも出現し、年々絵馬作者の作品もレベルアップしています。

どのような作品を製作すれば落札されるのかなど、もうすでに次年度の作品の構想を練っている会員や、絵馬の展示の仕方についても色々工夫することにより落札率が上がるのではないかと、もっと全会員へのPRにより入場者数拡大のための施策が必要だ、会場の展示パネルレイアウトの工

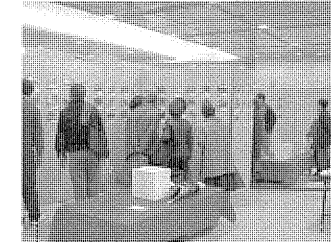
夫など、来年に向け早くも開催に尽力された交流委員会の委員の間では論議されています。毎年、見学者の多くは、感心/感動された方が多かったのではないのでしょうか。作品に込められた「心」「夢」「美」「楽」の表現に共感され、福祉のために役立ち、作者と見学者との間に作品を通じ共感することが、何よりの心の交流であり、まさに公益法人団体の役割でもあります。絵馬が落札されることは作者にとってこれ程うれしいことはないでしょう。今後とも、社会に役立つ活動の一環としてこの絵馬展を一層発展するよう全会員の協力により盛り上げていただきますようお願い致します。



毎年このイメージの案内状にてPR



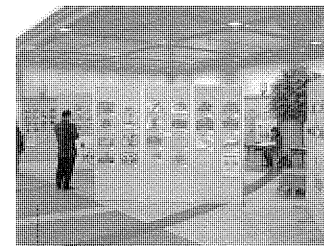
三団体の活動PRコーナー及び大阪府福祉基金感謝状



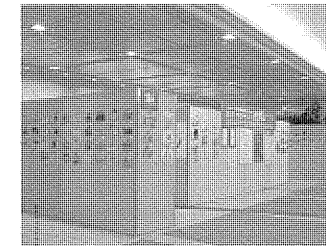
入場者で賑わう会場



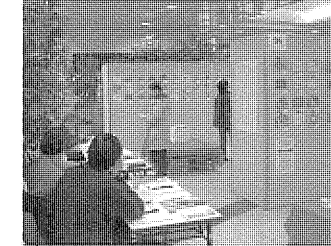
活動推進母体の交流委員会委員による落札絵馬の発送風景



第23回(2003) 開放的展示レイアウト



第24回(2004)第25回(2005) 閉鎖的展示レイアウトのため中に入らず見学終了する人もいた



第23~25回(2003~2005) 三団体当番席は面接試験官の様に入場者は中を見学するのに一瞬躊躇



桜ノ宮OAP TOWER玄関 毎年エントランスホール 特設ギャラリーにて開催

絵馬展も回を重ねると、制作者にもシリーズものを毎年制作し強烈にアピールし落札率アップに貢献、その中から毎年積極的に出展されている制作者の作品を編集部の独断でセレクトし誌上にて紹介します。

大管満義

猫シリーズ

干支シリーズ

友田みのり

前川 弘

小宮容一

大阪名所シリーズ

大管満義

旬ものシリーズ

その他力作

里吉 明

前田正夫

原田隆夫

三宅雅夫

羽原清明

三宅雅夫

同一表現 テクニック

三宅雅夫

クリスマスパーティを開催

交流委員会 市川 邦治



平成16年12月6日(月) JCD関西支部恒例のクリスマスパーティが開催された。会場は昭和6年に川崎貯蓄銀行大阪支店として建築され、現在はイタリアン&フレンチレストランとなっている「堺筋倶楽部」。

会員31名、賛助会員30名、関係者14名、計75名の参加者があり、交流委員会のメンバー全員会場からはみ出るほどの盛況であった。会場受付で各自持参したクリスマスプレゼントと会費を納め、各テーブルの抽選を引き、その中に当日のお世話係であるサンタクロースの役を決める当たりクジもあった。

18:30白井支部長の挨拶に始まり、新入会員、中村さん、衣笠さん、加藤さんの紹介。入会予定の酒井さん、宇川さん、長町さんも紹介。新賛助会員のニチェ(株)様、(株)ニッシンイクス様、(株)アドヴァン様の紹介。また当日の参加者の皆さんへ新潟中越地震へのカンパのお願いなど、少し長めの挨拶の後、松下電工(株)高橋さん(美人)の乾杯の音頭でパーティは始まった。

イタリアン料理とワインで歓談が弾む中、賛助会員様15社による商品PRコーナー、知的能力テストの「クイズ大会」となり、今回の景品は台風で不作が続いた農作物、トップ賞には12月に収穫できるよう大切に育てられた富有柿7Kg1箱が産地から直送される。それをなんと里吉理事がゲット! 2位から7位の方には有田みかん10Kgを産地から宅配便でお届け。

各自が持ち寄ったプレゼントを当日のサンタクロース5名がお席までお届けし、20:30金沢副支部長のお開きの挨拶で締めくくられた。美味しい料理で好評だった。でも、交流委員会のメンバーは料理が食べられず当日の反省会では委員長が吊るし上げられた。

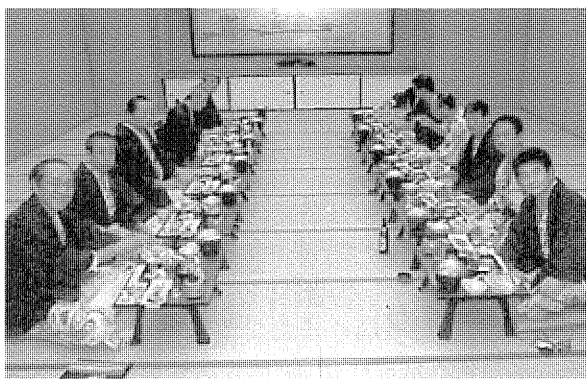


堺筋倶楽部について

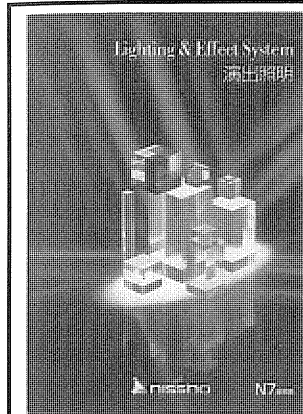
堺筋倶楽部は昭和6年川崎貯蓄銀行大阪支店として建築された鉄筋コンクリート造4階建、彫りの深い装飾が特徴の銀行建築。1階をイタリア料理、2、3階をフランス料理、4階をパーティなどに利用できる会場としている。また1階金庫室をワインセラーにするなど、当初の銀行の意匠を損なわず、上手にレストランに改修し、その名の通り堺筋の社交場として活躍している。設計は川崎貯蓄銀行建築課

紅葉のるるぶ会

前田 穂積



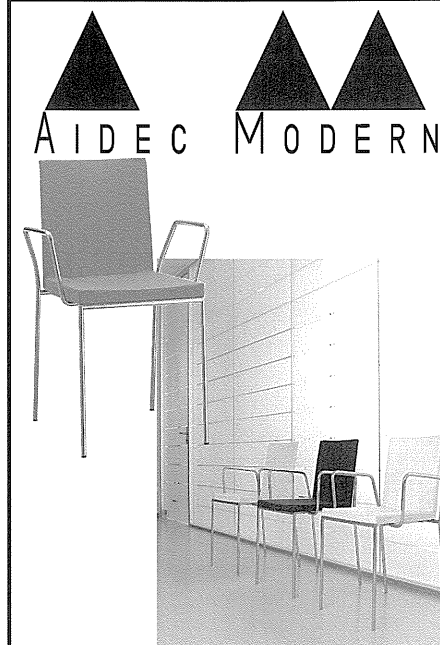
11/20・21に総勢12名で紅葉真っ盛りの宍道湖湖畔に行っていました。20日は晴天に恵まれる中、松江を訪れ、日本の名城と言われる松江城の天守閣、小泉八雲の旧居、武家屋敷など、お堀端の散策を行いながらのスケッチ、夜には玉造温泉(保性館)でのんびりと温泉につかり、郷土料理やお酒を楽しみながらのスケッチ品評会、翌日は雨曇りでしたが、中湖の境港で水木しげるロードを散策した後、港町や漁船をスケッチしながら帰途につきました。私は初参加させていただきましたが、皆さんのスケッチのうまさや楽しさ、スケッチを本当に楽しんでいる様子など印象に残り、楽しい旅となりました。



小さなスペースでもパワーを発揮する、コンパクト設計の本格派。組み合わせは自由自在。ご予算レイアウトに合わせてシステムアップも思いのまま。操作はやさしく、施工も簡単。プロ並の照明が手軽に実現できます。

株式会社 日照

〒566-0035 大阪府摂津市鶴野3丁目8番7号
TEL 072-634-1231(代) FAX 072-634-1239
E-mail: info@nissho-osk.co.jp http://www.nissho-osk.co.jp



株式会社 アイデック
〒550-0013大阪府西区新町1-10-2
大阪産業ビル/大阪ショールーム
tel 06-6534-0258
fax 06-6532-4876
URL: http://www.aidec.jp

WOODLINE

木目調・石目調ホモジニアスビニル床タイル
ウッドライン5000
ウッドライン3000
マティル5000
マティル3000

2004年新色発売

圧倒的な色数を誇るベストセラー。
ハイグレードな商空間を演出いたします。



株式会社タジマ
〒550-0003 大阪府高区京町堀1-10-5
TEL 06-6441-5951 FAX 06-6444-2596
http://www.tajima-inc.co.jp

Needs & News

やすらぎを演出する色彩と深みのあるテクスチャー。ナチュラルからモダンなテイストまで。

グラフィックタイルカーペット GXシリーズ

高いデザイン性と、豊富なバリエーション。商空間へ彩りを添えます。

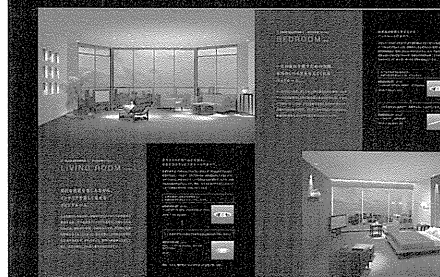
バリエーションは、12種類。その他に空間構成にかかせない無地タイプ26色のカラーパレットGX200もあります。

株式会社 東リ (URL) http://www.toli.co.jp

The Lighting Style for RESIDENCE

これからの集合住宅に提案する、マックスレイのあかり。

集合住宅に求められるものが、日増しに多様化・高度化する現在。照明演出の重要度が以前にも増して高まっています。わたしたちは、照明計画と器具提案を通して、空間と調和するあかりの実現をめざし、「これからの集合住宅づくり」をつくり手の側からサポートいたします。

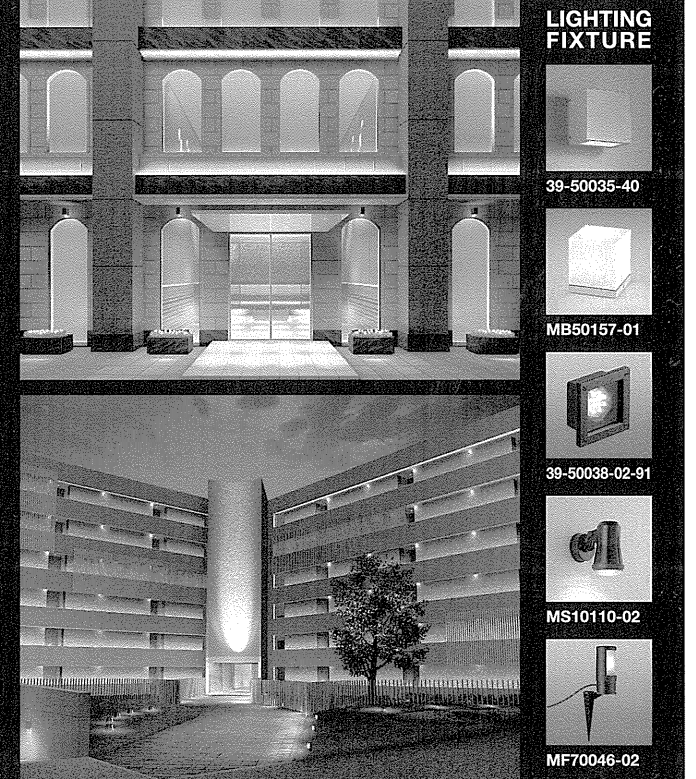


集合住宅向けパンフレットを発行いたしました。ご購入ください。

maxray A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社

ホームページ http://www.maxray.co.jp
東京 03-3791-2711 名古屋 052-252-9556 大阪府城東区鶴野西2-18-6 〒536-0014
大阪 06-6967-0123 福岡 092-431-7824 TEL.06-6967-0140(代) FAX.06-6962-5988



LIGHTING FIXTURE

39-50035-40

MB50157-01

39-50038-02-91

MS10110-02

MF70046-02

Needs & News



●いいインテリアのある場所には、いい生活がある。
壁紙・カーテン・床材・イス生地・・・
サンゲツなら、たくさんの商品の中からお気に入りのインテリアがトータルに揃います。
さあ、あなたも素敵なお部屋づくりはじめてみませんか。

株式会社サンゲツ ホームページ <http://www.sangetsu.co.jp>

●本社/名古屋店 TEL.052-564-3111 ●東京ショールーム TEL.03-3505-3300
●名古屋ショールーム TEL.052-564-3225 ●大阪ショールーム TEL.06-6440-5011

商業空間の演出に、ブランドイメージの定着に、企業アイデンティティの主張に。

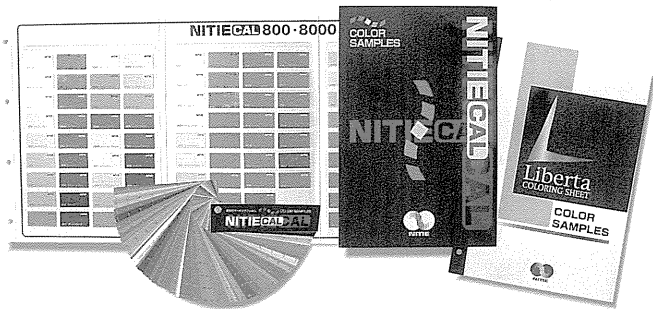
人々の目を楽しませる鮮やかな色彩、豊富なカラーバリエーションが、
効果的な企業PRとセールスプロモーションを実現します。
ニチエは、多彩な視覚表現をトータルにサポートいたします。

高品位マーキングフィルム

NITIECAL

屋外5年耐候一般色
NITIECAL
No.800・8000
シリーズ
【全136色】

屋外5年耐候電飾用
NITIECAL
No.6600・6700
シリーズ
【NC6600 半透明 38色 / NC6700 透明 29色】

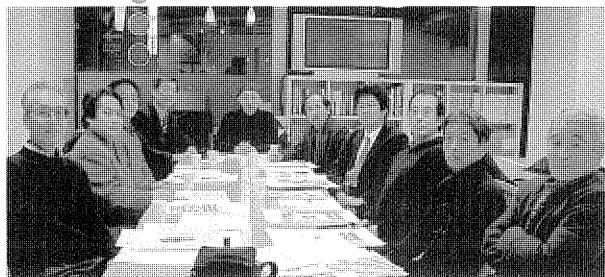


■ 製品に関するお問い合わせ、カタログ請求等は下記の弊社営業部まで、お気軽にお問い合わせください。

ニチエ株式会社 大阪本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高1-6-28 TEL06-6399-6601 FAX06-6399-7501
東京営業所 〒162-0044 東京都新宿区喜久井町19 TEL03-3202-5481 FAX03-3203-6735

<http://www.nitie.co.jp>

編集後記



■ 今回の委員会になって2号目の発刊になりました。前号の反省を踏まえてと考えながら、今号の編集に入りましたが、時間に追われ、反省点が生かされたか疑問ではありますが、広報委員や原稿を執筆していただいた方の協力で面白い記事も多数出来ました。会員の方々に57号を少しでも楽しんで読んでいただければと祈りつつ、JCDの広報誌の難しさを改めて実感しながら、今号の発刊になりました。(前田)

■ 写真の多い内容の記事は得意なのだが文章となると、いつも苦労しています。記事を書きまとめるのは意外と大変だとつくづく思います。(三宅)

■ ほとんど編集が出来ませんでした。次回頑張ります。(岡島)

■ 取材に記事に目一杯頑張りました。(寺井)

■ 表紙デザインがそろそろネタ切れになりそうです。どなたか表紙デザインされませんか?(友田)

■ 出来る限りの協力をするつもりで委員会にも参加させてもらっていますが、なかなかお役に立つような動きは出来ていません。次年度もよろしくお願いします。(白井)

■ JCDの賛助会員のINAXさんのショールームをお借りしての広報委員会。この場所をご存知南船場のすぐ近く。大阪のクリエイターの集まっている場所。委員会終了後の楽しみ方いっぱい!編集会議に突然、今まで知らない人が参加しりしてきたら最高。他の委員会の方も何時でも参加OK! 私はこの辺りの主みたいなんも。いろいろ知っています。前田委員長は会の後は「タコ」がいいらしい!それバツカじゃないかなー。でも私も昔ムカシ、編集長をやっていたので、ご苦労が一番わかっているつもり。しょうがない、前田穂積を応援しつつ、愚痴も聞いてやらねばなるまい。穂積もなかなかいやっちゃで!それを確認にくだだけでも、価値ありませ!ハイ?!(里吉)



株式会社キノシタ
<http://www.kk-kinoshita.co.jp/>

■ 本社 5階 1号室
〒106-0035 東京都港区赤坂4丁目1-10
Tel.03(6644)5541(代) Fax.03(6644)5544-5545

■ 東京支店
〒114-0014 東京都品川区下石1丁目1番1号(品川駅西口徒歩1分)
Tel.03(6699)9401(代) Fax.03(6699)4002

■ 名古屋支店
〒466-0835 名古屋市中区錦2丁目264
Tel.052(824)0950(代) Fax.052(824)8992

■ 大阪支店
〒552-0042 豊崎地区豊崎5丁目15-45
Tel.066(251)0311(代) Fax.066(251)0303

それは、あなたの感覚と調和する。

Design Conscious

NEW WAVE. A SENSE OF LIFE
KOIZUMI

眩しくない。
配光へのこだわり-TRACTA Optical Head

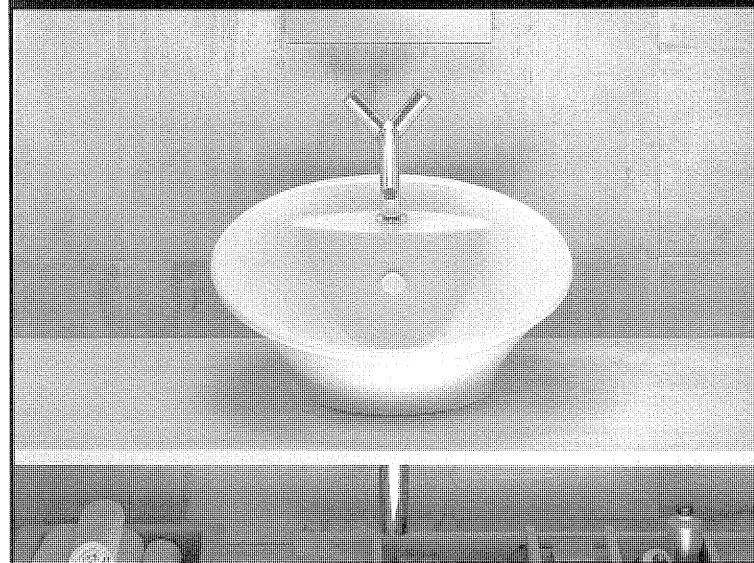
LIGHTING PRESENTATOR KOIZUMI 眩しさをなく、あかりへ。

小泉産業株式会社

照明分社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3-7 東京支社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-12
近畿店舗開発営業所 大阪市中央区備後町3丁目3-7 〒541-0051 TEL.06-6266-4821 FAX.06-6266-1626
<http://www.koizumi.co.jp/>



アドヴァンのショールームは、選りすぐった「良いものを世界から」集め、
ハイセンスな商品約5,000点を常時展示しています。
プロの設計士はもちろん、インテリアコーディネーターや一般の人まで、
あらゆる分野の方からご利用いただいています。
ぜひ一度ご来店の上、実物に触れてみてください。

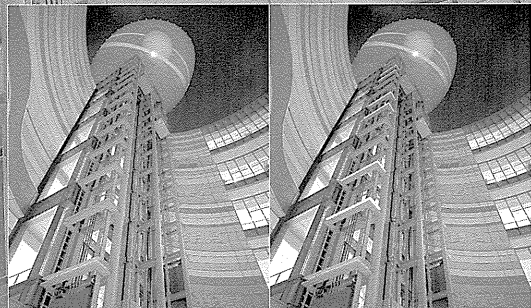


大阪ショールーム
〒542-0082 大阪市中央区島之内1-21-22共通ビル
TEL.06(6245)0975(代) FAX.06(6245)0976

<http://www.advan.co.jp/>
ADVAN 株式会社 アドヴァン

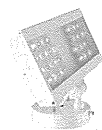
National

音や映像とダイナミックに連動。
LEDフルカラー・イルミネーション。

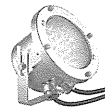


なんばパークス 商業棟 パークスムーン(大阪市浪速区)
屋外庭園と大規模商業ビルが融合した「ミナミ」の新名所。RGBの制御だけではなく音楽と連動したLEDフルカラー演出をトータルにプロデュース。ランドマークにふさわしい「夜景」を生み出しています。
事業主:南海電気鉄道株式会社・株式会社高島屋
設計:(株)大林組本店 一級建築士事務所/施工:大林組JV

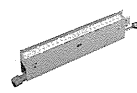
光の3原色—RGBを自在に制御し、フルカラーで演出。近景から遠景まで、色鮮やかなLED照明をトータルにご提案します。RGBすべての光色の組み合わせで、1670万フルカラーの色彩表現が可能。豊富な器具ラインアップに加え、規模や内容にあわせた照明演出のための制御機器もご用意。長寿命・省エネの次世代照明LEDが、多彩な照明演出をトータルに支援します。



角型投光タイプ



水中タイプ



ラインタイプ



スクエアタイプ

カラー演出用LED照明システム 〈アールジービープロ〉 RGB PRO.

*エバーレッズが受賞しました



EVERLEDS LED演出照明をトータルサポートする松下電工のLED照明器具エバーレッズ

専用カタログをご用意しています。ご請求は、〒571-8686 松下電工(株)照明事業分社 マーケティング・デザイン総合部(住所記載不要) TEL.06-6908-1131(大代表)。インターネットでより詳しい情報がご覧いただけます。 <http://www.mew.co.jp/Ebox/everleds>

National 松下電工、NAIS 松下電工 は National ブランドに統一します。

松下電工